

ぬまピタル

●シリーズ「専門家にきく」 前立腺癌とロボット手術



沼津市立病院 広報誌
2019年(平成31年)
1月1日号
vol.8

泌尿器科

こうへい 直樹 医師

前立腺癌とロボット手術

Profile

高知医科大学を卒業後、京都大学医学部附属病院に勤務。

各医療機関での勤務を経て、2015年より静岡県立総合病院に勤務し現在に至る。2019年1月より当院非常勤医師として勤務し、4月より当院へ赴任予定。

(専門分野・資格)

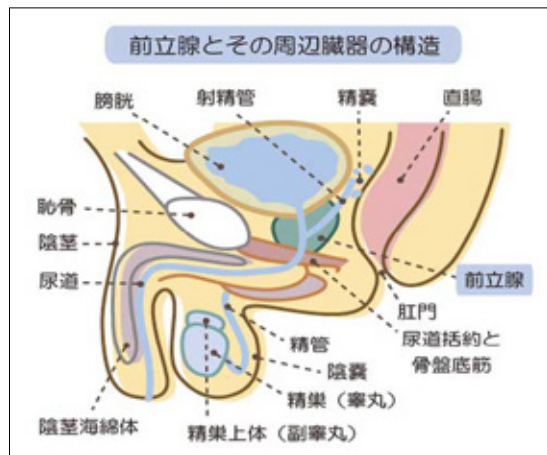
- ・日本泌尿器科学会専門医・指導医
- ・日本臨床腎移植学会認定医
- ・日本移植学会認定医
- ・日本泌尿器内視鏡学会技術認定医

前立腺癌について

前立腺癌は、食事など生活様式の欧米化や、高齢化に伴い、近年急速に増加している癌です。年を取ることに伴って患者数が多くなる傾向にあり、罹患率は六〇歳以上で増加します。今回、前立腺癌とロボット手術に関するさまざまな疑問を泌尿器科・公平医師が解説します。

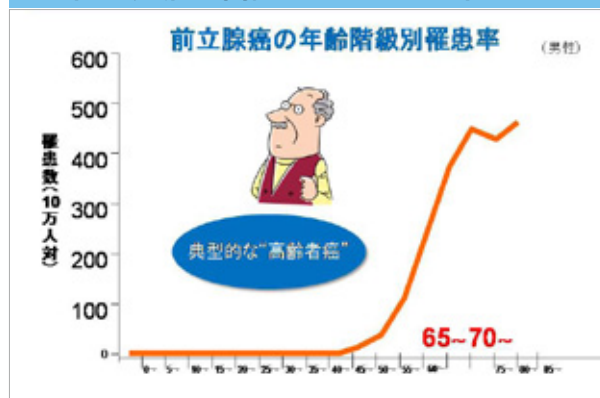
Q・前立腺の機能は

A・前立腺は男性にしか存在せ



出典: <http://www.pref.gunma.jp/02/d2900090.html>

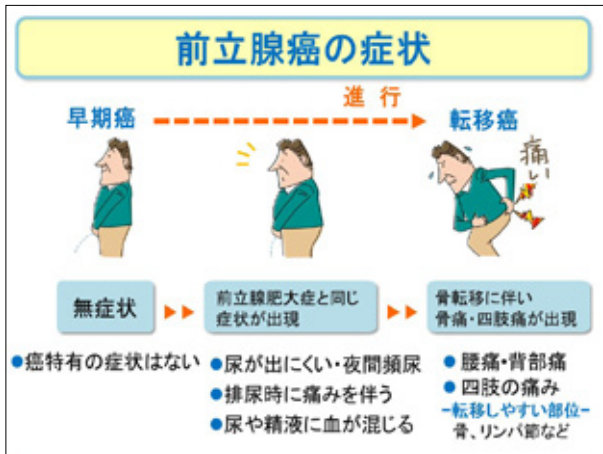
前立腺癌は高齢者になるほど増える



ず、骨盤の一番深いところに位置しています。男性の場合、膀胱に溜まった尿は前立腺を通過してから、その下に続く尿道に流れ出ます。前立腺は主に精液の一部である前立腺液を作っています。前立腺液は精子に栄養を与えたり運動を助けたりする働きがあります。前立腺の働きや成長は男性ホルモンによって維持されています。

Q・罹患状況の見込みは

A・近年、日本において前立腺



癌は増加している癌のひとつとして注目されています。二〇二〇年過ぎには前立腺癌の罹患数は一番多くなると予測されています。

Q・前立腺癌の症状は

A・多くは無症状です。前立腺癌は進行すると骨転移を発症しやすい特徴があります。昔の医学生は「高齢者の腰痛は前立腺癌を疑え」と教えられてきました。骨転移が起こり、骨の痛みが出現するまで症状が自覚でき

Q・治療方法は

A・根治を目指す方法として手術と放射線治療があります。放射線治療は体への負担が少ないという利点がありますが、治療期間が長く根治できたかどうか

治療とロボット手術について

一部、合併していることがありますが、その場合は排尿困難の症状を伴うことがあります。

ロボット手術のメリット	
◎傷口が小さい	内視鏡や鉗子を挿入するため5-12mmの傷で最大6箇所です。(術式によって異なります。)
◎開腹手術に比較して術中の出血が少ない	
◎傷口が小さいため術後の疼痛(とうつう)が少なく回復も早い	
◎術後の合併症のリスクが低い	創部の感染症が少なく腸閉塞などの合併症発症率も低い傾向にあります。
◎機能の温存が向上	鉗子の正確で細密な動きによって体の機能を温存させる手術が期待できる。前立腺全摘出術では開腹手術に比べて尿失禁や勃起機能の回復が早くなることが報告されています。

判定が難しいという問題点があります。手術は体への負担が懸念されますが、前立腺を摘出することによって体内から前立腺癌の細胞を無くすことを目標としています。手術と放射線治療の両方ともに、癌再発の可能性・排尿障害の可能性・男性機能低下の可能性を有しています。手術療法や放射線治療の補助としてホルモン療法を併用する場合があります。

Q・ロボット手術の特徴は

A・前立腺癌の手術は骨盤の奥深くで複雑な手術操作を必要とするものです。狭い術野で複雑な手術操作をしなければならなことが、前立腺癌手術を困難なものにしていました。ロボット手術では、人間の手の動き以上の操作を可能にして、良好な視野を維持することができ、ため出血が少なく、体への負担も少ない、患者様にとって優しい



男性の排尿セルフチェック！

前立腺癌はあなたの知らないところで進行しているかもしれません。以下の症状が1つでもあてはまった場合は、泌尿器科医師に相談しましょう。

チェックシート

☐ おしっこに勢いがなくなった。	☐ おしっこが残っている感じがする。
☐ 夜中に何度もおしっこに行きたくなる。	☐ おしっこのあとに下着を汚してしまう。

治療となっています。

読者にメッセージを

前立腺癌が気になる患者様へ

前立腺癌は高齢者に多く、比較的進行もゆっくりと思っている方も多いですが、なかには進行が早く様々な症状に苦しむ方がおられます。前立腺癌は早期診断することで、十分根治できる可能性があります。定期的に健康診断を受けて早期発見に努めましょう。

PICK UP

平成 31 年 4 月より 泌尿器科常勤医師による入院治療を再開 !!

手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入 !!!

da Vinci

ダヴィンチ は、米国で開発され世界中で導入が進んでいる手術支援ロボットです。
「ロボット」と言っても機械が自動的に手術を行うわけではなく、医師が行う手術操作を正確かつ繊細に再現し、より安全に手術を行えるようロボットが支援します。

ダヴィンチは、以下の3つの機器によって構成されています。



操る



手ぶれがなく正確



動く



精密な操作が可能



見る



鮮明な 3D 画像

INFORMATION

第 33 回・第 34 回 市民公開講座

事前予約不要
入場無料

1 月 19 日 (土) 14:00 ~ 15:15

内容：知っているで得! 子どもの病気の考え方

講師：小児科部長 村林督夫

会場：サンウェルぬまづ

3 月 16 日 (土) 13:30 ~ 14:45

内容：泌尿器科で診療する疾患とは?

講師：泌尿器科医師 公平直樹

会場：沼津市立図書館

沼津市立病院

【基本理念】

市民のために 共に歩む病院

〒410-0302 沼津市東椎路字春ノ木 550

発行：広報委員会・病院管理課企画係

Tel: 055-924-5100 (内 2370) mail: byoin-so@city.numazu.lg.jp

[沼津市立病院](#) [検索](#)

次号 (平成 31 年 4 月) の「専門家にきく」は、呼吸器内科・吉田 康秀 医師「COPD (慢性閉塞性肺疾患) について」を予定しています。ぬまびタルについてのご意見、ご感想をお寄せ下さい。



R70
古紙パルプ配合率70%再生紙を使用